



## 2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月15日

上場会社名 昭和化学工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4990 URL <https://www.showa-chemical.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石橋 健藏  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 笹元 岳 TEL 03-5575-6300  
 定時株主総会開催予定日 2025年6月27日 配当支払開始予定日 2025年6月30日  
 有価証券報告書提出予定日 2025年6月25日  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期の連結業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	9,237	0.4	346	△31.3	571	△20.6	411	△29.5
2024年3月期	9,196	△0.3	503	△16.1	719	△13.9	584	△5.2

(注) 包括利益 2025年3月期 637百万円 (△29.8%) 2024年3月期 908百万円 (32.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	38.67	—	5.2	4.2	3.7
2024年3月期	55.11	—	8.1	5.4	5.5

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 43百万円 2024年3月期 137百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	13,655	8,119	59.5	762.37
2024年3月期	13,528	7,598	56.2	713.48

(参考) 自己資本 2025年3月期 8,119百万円 2024年3月期 7,598百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	766	△135	△435	3,072
2024年3月期	825	△160	△514	2,829

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	—	—	8.00	8.00	87	14.5	1.2
2025年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00	65	15.5	0.8
2026年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00		16.0	

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,700	△2.4	170	△14.2	320	28.5	240	34.5	22.53
通期	9,300	0.7	280	△19.1	530	△7.2	400	△2.9	37.56

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無  
新規 -社 (社名)、除外 -社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年3月期	11,979,000株	2024年3月期	11,979,000株
2025年3月期	1,328,405株	2024年3月期	1,328,405株
2025年3月期	10,650,595株	2024年3月期	10,605,019株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(会計方針の変更に関する注記) .....	12
(セグメント情報等の注記) .....	12
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2024年4月1日～2025年3月31日)における我が国経済は、雇用や所得環境の改善が進み景況感は緩やかな回復基調が期待されるものの、食料品価格の高止まりや各国の通商政策の動向影響による企業収益下押し懸念等、今後の予測が難しい状況が続いております。

当業界におきましては、運送費や各種エネルギー及び資材価格が依然として高水準で推移する等、厳しい状況が続いております。

このような経営環境の中、当社グループにおきましては売上目標達成と利益確保に尽力しました。

その結果、国内市場における販売価格改定効果、並びに海外市場における増収影響により売上高は前年同期並みの92億37百万円(前期比0.4%増)となりました。利益面では「投資有価証券売却益」を計上しましたが、運送費及び人件費の増加に加え、関連会社の豪雨被害による「持分法による投資利益」及び前年同期に計上した「有形固定資産売却益」の減少により経常利益は5億71百万円(同20.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は4億11百万円(同29.5%減)となりました。なお、当社グループは単一セグメントであるため、製品別の業績を記載すると次のとおりであります。

#### 濾過助剤

当該製品は、主にビール類・清涼飲料水・甘味料・調味料等の食品工業、抗生物質等の製薬工業、油脂・合成樹脂等の化学工業、ごみ焼却場等で使用される当社の主力製品群です。

当連結会計年度におきましては、海外市場における売上はほぼ横ばいでしたが、国内市場においては各種化学品向け製品及び甘味料向け製品の売上が増加しました。この結果、売上高は57億77百万円(前期比2.2%増)となりました。この分野の売上は、当社グループ売上全体の62.5%を占めております。

#### 建材・充填材

当該製品は、主に住宅用建材や土木資材、シリコーンゴム等に使用される製品群です。

当連結会計年度におきましては、海外市場における各種充填材向け製品の売上が堅調に推移しましたが、国内市場においては各種建材向け製品の売上が減少しました。この結果、売上高は14億27百万円(前期比1.9%減)となりました。この分野の売上は、当社グループ売上全体の15.5%を占めております。

#### 化成品

当該製品は、主にプールや温浴施設及び浄化槽向けの塩素系消毒剤、産業排水向けの高活性微生物剤等の水処理関連製品群です。

当連結会計年度におきましては、プール用塩素剤等の売上が増加しましたが、浄化槽用塩素剤及び産業排水向け水処理剤等の売上が減少しました。この結果、売上高は14億71百万円(前期比1.8%減)となりました。この分野の売上は、当社グループ売上全体の15.9%を占めております。

#### その他の製品

当該製品は、主に珪藻土粒状品及びデオドラント製品や浴室関連機器等の生活関連用品、その他スポットで発生する製品群です。

当連結会計年度におきましては、主に各種化学品向け製品の売上が減少しました。この結果、売上高は5億60百万円(前期比4.7%減)となりました。この分野の売上は、当社グループ全体の6.1%を占めております。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1億27百万円増加し、136億55百万円となりました。主な増加は、投資有価証券2億41百万円、機械装置及び運搬具(純額)1億39百万円であり、主な減少は受取手形及び売掛金2億67百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ3億93百万円減少し、55億35百万円となりました。主な増加は、長期借入金1億86百万円であり、主な減少は、短期借入金5億11百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ5億20百万円増加し、81億19百万円となりました。主な増加は、利益剰余金2億94百万円、その他有価証券評価差額金1億28百万円であります。

なお、自己資本比率は、前連結会計年度末の56.2%から59.5%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末より2億43百万円増加し、30億72百万円となりました。

当連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、7億66百万円となりました。

これは、主に税金等調整前当期純利益5億92百万円、減価償却費2億55百万円があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1億35百万円となりました。

これは、主に定期預金の払戻収入2億20百万円に対し、有形固定資産の取得による支出3億62百万円があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、4億35百万円となりました。

これは、主に、短期借入金の純増減額の減少5億11百万円があったことによります。

なお、当社グループのキャッシュ・フロー指標は次のとおりであります。

項目	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
自己資本比率(%)	46.9	48.5	51.8	56.2	59.5
時価ベースの自己資本比率(%)	43.9	31.6	36.7	35.3	34.3
債務償還年数(年)	5.3	8.0	5.8	3.9	3.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	17.8	13.5	19.8	28.7	24.7

- (注) 自己資本比率 : (自己資本) ÷ (総資産)  
 時価ベースの自己資本比率 : (株式時価総額) ÷ (総資産)  
 債務償還年数 : (有利子負債) ÷ (営業キャッシュ・フロー)  
 インタレスト・カバレッジ・レシオ : (営業キャッシュ・フロー) ÷ (利払い)

- 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
- 「株式時価総額」は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。
- 「営業キャッシュ・フロー」は、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。「有利子負債」は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、「利払い」については、連結キャッシュ・フロー計算書の「利息の支払額」を使用しております。
- 「債務償還年数」及び「インタレスト・カバレッジ・レシオ」については、営業キャッシュ・フローがマイナスの場合は記載しておりません。

(4) 今後の見通し

次期の日本経済は、雇用・所得環境の改善や設備投資の堅調さの持続等により緩やかな回復が続くと予想されますが、世界的な物価上昇の持続や各国の通商政策の動向影響による企業収益下押し懸念等、今後の予測が難しい状況が続いております。

このような経営環境の中、当社グループは経営理念である「お客様のため、社会のため、人間生活向上のため、貴重な資源を限りなく有効に活用し、広く産業を支え、豊かな明日を構築することに貢献する。」を実現すべく、気候変動問題への対応や多様なバックグラウンドを持った人材が活躍できる基盤づくり等の社会的要請を意識しつつ、積極的な拡販活動、新規事業育成、全社規模でのコスト削減、感染症を含めた災害リスクの低減等、各種施策を進めてまいります。

なお、2026年3月期の連結業績予想につきましては、売上高93億円、営業利益2億80百万円、経常利益5億30百万円、親会社株主に帰属する当期純利益4億円を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、安定した配当を継続的に行うことを基本方針としております。さらに、長期的視点による事業の維持拡大をめざし、適時、効果的な設備投資及び研究開発を実践していくため内部留保の確保に努めております。

当期の年間配当金につきましては、1株につき6円の普通配当とさせていただき予定であります。なお、当期は既に中間配当金として1株につき3円を実施いたしましたので、期末配当金はこれを差し引いた1株につき3円とさせていただき予定であります。

次期の配当金につきましては、2026年3月期の連結業績予想及び今後の資金需要等を総合的に勘案し、1株につき年間配当金6円（中間配当金3円）の普通配当とさせていただき予定であります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

今後のIFRS（国際会計基準）の適用につきましては、国内外の情勢等を踏まえ、適切な対応を検討していく方針であります。

### 3. 連結財務諸表及び主な注記

#### (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,149,420	3,172,426
受取手形及び売掛金	2,716,352	2,449,014
商品及び製品	377,475	410,541
仕掛品	456,539	478,585
原材料及び貯蔵品	203,448	211,266
その他	101,916	71,300
貸倒引当金	△20,606	△3,452
流動資産合計	6,984,544	6,789,683
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,086,799	3,113,166
減価償却累計額	△2,251,682	△2,310,477
建物及び構築物 (純額)	835,117	802,688
機械装置及び運搬具	4,935,499	5,114,339
減価償却累計額	△4,439,863	△4,479,531
機械装置及び運搬具 (純額)	495,636	634,808
土地	549,837	549,678
原料用地	663,583	663,787
減価償却累計額	△224,452	△232,116
原料用地 (純額)	439,131	431,671
リース資産	157,138	148,962
減価償却累計額	△157,138	△148,962
リース資産 (純額)	—	—
建設仮勘定	152,412	170,731
その他	118,694	129,032
減価償却累計額	△101,574	△106,004
その他 (純額)	17,120	23,028
有形固定資産合計	2,489,254	2,612,606
無形固定資産		
その他	124,027	90,290
無形固定資産合計	124,027	90,290
投資その他の資産		
投資有価証券	3,465,106	3,706,238
長期貸付金	59,980	58,780
繰延税金資産	20,111	23,849
その他	469,781	452,099
貸倒引当金	△84,679	△78,238
投資その他の資産合計	3,930,301	4,162,729
固定資産合計	6,543,583	6,865,626
資産合計	13,528,128	13,655,309

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,217,659	996,695
短期借入金	2,092,791	1,581,000
1年内償還予定の社債	190,000	130,000
1年内返済予定の長期借入金	208,340	394,464
未払法人税等	96,942	126,166
賞与引当金	45,145	100,380
その他	336,447	337,782
流動負債合計	4,187,326	3,666,489
固定負債		
社債	250,000	120,000
長期借入金	472,520	658,541
繰延税金負債	55,824	88,841
役員退職慰労引当金	18,998	18,998
退職給付に係る負債	854,105	893,547
その他	90,399	89,209
固定負債合計	1,741,847	1,869,138
負債合計	5,929,174	5,535,627
純資産の部		
株主資本		
資本金	598,950	598,950
資本剰余金	566,281	566,281
利益剰余金	5,694,833	5,989,526
自己株式	△383,189	△383,189
株主資本合計	6,476,874	6,771,567
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	937,885	1,066,810
土地再評価差額金	6,545	6,488
為替換算調整勘定	177,649	274,815
その他の包括利益累計額合計	1,122,080	1,348,114
純資産合計	7,598,954	8,119,682
負債純資産合計	13,528,128	13,655,309



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	9,196,549	9,237,406
売上原価	6,284,592	6,393,319
売上総利益	2,911,957	2,844,087
販売費及び一般管理費		
発送費	934,320	1,015,051
給料及び手当	413,293	420,228
賞与引当金繰入額	23,450	51,169
退職給付費用	39,326	42,483
貸倒引当金繰入額	17,541	△10,368
減価償却費	45,150	37,177
その他	935,002	942,259
販売費及び一般管理費合計	2,408,085	2,498,001
営業利益	503,871	346,085
営業外収益		
受取利息	1,733	1,182
受取配当金	52,263	61,645
固定資産賃貸料	55,963	55,042
持分法による投資利益	137,160	43,083
売電収入	25,470	27,397
為替差益	—	18,715
その他	23,901	89,473
営業外収益合計	296,491	296,540
営業外費用		
支払利息	29,366	29,976
売電費用	21,747	21,017
減損損失	4,862	—
その他	24,849	20,445
営業外費用合計	80,825	71,439
経常利益	719,537	571,186
特別利益		
有形固定資産売却益	42,007	23
投資有価証券売却益	29,140	51,232
関係会社清算益	1,476	—
特別利益合計	72,625	51,255
特別損失		
有形固定資産売却損	—	3,412
固定資産除却損	3,777	19,015
関係会社株式評価損	—	7,315
特別損失合計	3,777	29,743
税金等調整前当期純利益	788,385	592,699
法人税、住民税及び事業税	198,587	225,221
法人税等調整額	4,778	△44,365
法人税等合計	203,365	180,855
当期純利益	585,019	411,843
非支配株主に帰属する当期純利益	622	—
親会社株主に帰属する当期純利益	584,397	411,843

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	585,019	411,843
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	273,016	129,305
為替換算調整勘定	21,741	55,682
持分法適用会社に対する持分相当額	28,286	41,046
その他の包括利益合計	323,044	226,034
包括利益	908,064	637,878
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	907,436	637,878
非支配株主に係る包括利益	628	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	598,950	574,299	5,205,714	△421,851	5,957,112
当期変動額					
剰余金の配当			△95,278		△95,278
親会社株主に帰属する当期純利益			584,397		584,397
自己株式の取得					—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		870		△2,806	△1,935
連結子会社所有の親会社株式の処分		△8,889		41,467	32,578
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△8,018	489,119	38,661	519,761
当期末残高	598,950	566,281	5,694,833	△383,189	6,476,874

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	662,938	6,559	129,539	799,037	2,104	6,758,254
当期変動額						
剰余金の配当						△95,278
親会社株主に帰属する当期純利益						584,397
自己株式の取得						—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						△1,935
連結子会社所有の親会社株式の処分						32,578
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	274,947	△14	48,109	323,042	△2,104	320,938
当期変動額合計	274,947	△14	48,109	323,042	△2,104	840,700
当期末残高	937,885	6,545	177,649	1,122,080	—	7,598,954

当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	598,950	566,281	5,694,833	△383,189	6,476,874
当期変動額					
剰余金の配当			△117,150		△117,150
親会社株主に帰属する当期純利益			411,843		411,843
自己株式の取得					
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					
連結子会社所有の親会社株式の処分					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	294,693	—	294,693
当期末残高	598,950	566,281	5,989,526	△383,189	6,771,567

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価差額 金	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	937,885	6,545	177,649	1,122,080	—	7,598,954
当期変動額						
剰余金の配当						△117,150
親会社株主に帰属する当期純利益						411,843
自己株式の取得						
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						
連結子会社所有の親会社株式の処分						
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	128,925	△57	97,166	226,034	—	226,034
当期変動額合計	128,925	△57	97,166	226,034	—	520,727
当期末残高	1,066,810	6,488	274,815	1,348,114	—	8,119,682

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	788,385	592,699
減価償却費	249,322	255,054
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	18,078	△23,595
賞与引当金の増減額 (△は減少)	157	55,235
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△34,893	39,441
受取利息及び受取配当金	△53,996	△62,828
支払利息	29,366	29,976
減損損失	4,862	—
関係会社清算損益 (△は益)	△1,476	—
関係会社株式評価損	—	7,315
投資有価証券売却損益 (△は益)	△29,140	△51,232
持分法による投資損益 (△は益)	△137,160	△43,083
有形固定資産売却損益 (△は益)	△42,007	3,388
固定資産除却損	3,777	16,240
売上債権の増減額 (△は増加)	136,652	302,312
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△43,220	△62,931
仕入債務の増減額 (△は減少)	148,715	△224,624
その他	△72,973	10,821
小計	964,447	844,191
利息及び配当金の受取額	95,894	128,463
利息の支払額	△28,803	△31,055
法人税等の支払額	△206,013	△196,965
法人税等の還付額	—	21,912
営業活動によるキャッシュ・フロー	825,525	766,546
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	—	220,000
有形固定資産の取得による支出	△221,231	△362,494
有形固定資産の売却による収入	76,540	444
無形固定資産の取得による支出	△82,580	△6,086
固定資産の除却による支出	△2,569	—
投資有価証券の取得による支出	△2,551	△41,794
投資有価証券の売却による収入	37,593	66,075
関係会社の清算による収入	4,301	—
短期貸付金の回収による収入	—	2,000
長期貸付金の回収による収入	1,200	1,200
その他	28,698	△15,321
投資活動によるキャッシュ・フロー	△160,598	△135,975
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△287,178	△511,791
長期借入れによる収入	200,000	650,000
長期借入金の返済による支出	△223,660	△277,855
社債の発行による収入	98,940	—
社債の償還による支出	△220,000	△190,000
自己株式の売却による収入	17,531	11,108
配当金の支払額	△95,278	△117,150
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△4,660	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△514,305	△435,687
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,203	48,122
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	156,825	243,006
現金及び現金同等物の期首残高	2,672,595	2,829,420
現金及び現金同等物の期末残高	2,829,420	3,072,426

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当連結会計年度の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前連結会計年度(自2023年4月1日 至2024年3月31日)及び当連結会計年度(自2024年4月1日 至2025年3月31日)  
当社グループは、珪藻土・パーライト事業セグメント単一ですので、セグメント情報の記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自2023年4月1日 至2024年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

区分	濾過助剤	建材・充填材	化成品	その他	合計
外部顧客への売上高	5,653,746	1,455,902	1,498,777	588,123	9,196,549

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	その他	合計
7,404,640	1,791,909	9,196,549

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

日本国内の有形固定資産の金額が、連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自2024年4月1日 至2025年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

区分	濾過助剤	建材・充填材	化成品	その他	合計
外部顧客への売上高	5,777,691	1,427,882	1,471,240	560,591	9,237,406

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	その他	合計
7,422,169	1,815,236	9,237,406

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

日本国内の有形固定資産の金額が、連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自2023年4月1日 至2024年3月31日）及び当連結会計年度（自2024年4月1日 至2025年3月31日）

当社は、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自2023年4月1日 至2024年3月31日）及び当連結会計年度（自2024年4月1日 至2025年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自2023年4月1日 至2024年3月31日）及び当連結会計年度（自2024年4月1日 至2025年3月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	713.48円	762.37円
1株当たり当期純利益金額	55.11円	38.67円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	584,397	411,843
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益金額 (千円)	584,397	411,843
期中平均株式数 (千株)	10,605	10,650

(重要な後発事象)

該当事項はありません。